

大桑 第53号 無所属 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

私たち市民が政治に参加する流れを作ります！

栄区から、しがらみのない政治を実現します！

市議員2期目
よろしくお願いします！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます(情報公開)。
- 2、大桑まさたかの政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくりまします(しがらみをなくす)。
- 4、子や孫のために持続可能な社会をつくりまします。

横浜市議員選挙の結果！

平成19年4月8日(日)に投開票された横浜市議員選挙の結果ですが、19,869票(得票率37.3%)を頂き、皆様のおかげで再選を果たすことが出来ました。

皆様ご存知の通り、私は特定の支持団体を持っておりません。

そのような私が19,869人の方に票を頂いたのは、ひとえにこの大桑新聞を受け取って頂いている皆様のおかげだと強く感じております(公職選挙法により当選のお礼をすることが出来ません)。これからも大桑新聞は必ず配り続けますので、よろしくお願い致します。また、今回の選挙でも多くの方からあたたかい激励やお叱りを含めた貴重なご意見をたくさん頂戴し、自分の足りない点をあらためて気付かせて頂きました。最後になりますが、私は今回の選挙を新たなスタートとして初心を忘れずしっかりと頑張っていきたいと思っております。今後もよろしくお願い致します。

大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

第53号(4月号)

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL&FAX : 045-892-5187

携帯電話 : 070-6511-1295

<http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 派遣会社アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子、マメ(猫)、グリ(犬)

(マメとグリはそれぞれの実家にいます)

大桑新聞は毎月JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配布しております。

2月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成18年度2月現在の政務調査費**累計残高**は **- 181,207円**です。

今回の使用金の内訳

郵便代	10,095円	書籍代等	5,106円
大桑新聞印刷代等	334,635円	文具費等	16,878円
勉強会代等	23,529円	新聞代	9,050円
通信費	34,171円	事務所費等	97,891円
交通費	92,450円	道路使用料(2月分)	4,000円

2月の**支出合計**は

627,805円です。

近況報告

当選後初の本会議(平成19年第2回定例会)が5月15日(火)～5月29日(火)で開催される予定です(当選後、初めて議会に行くのは5月1日(火)になります)。また、選挙が終わってから本会議が始まるまでになんとか選挙関係(収支報告など)の事務処理を終わらせることが出来ればと思っております。

区役所の土日開庁!

平成19年5月12日(土)から横浜市内すべての区役所が毎月、第2・第4土曜日の9時～12時で開庁することになりました。

しかし、取扱業務は、通常通りではありません。戸籍課の業務(戸籍・住民票・印鑑登録など)、保険年金課の業務(国民健康保険・国民年金など)、サービス課の一部業務(児童手当の申請・受付、母子健康手帳の交付)など限られたものになります(他都市や他機関が土曜日に業務をやっていないなどの理由からです)。

ちなみに、土曜日を担当する職員は平日に休日を振り替えて対応するため「休日出勤手当」はつきません。是非、ご利用下さい。

防犯灯

現在、栄区には(平成17年度4月現在)6,507灯ありますが、この防犯灯は毎年度5月頃に区ごとに要望を取りまとめているようです。皆さんの身の回りで防犯灯の設置が必要な場所があれば加入している町内会に要望して頂ければと思います。

持続可能な社会(環境や財政などすべてを含む)を作る!

今回当選し、今後、私が政治活動を続けていく上で(大桑新聞52号等にも載せましたが)これからも「**持続可能**」という言葉を公約に掲げさせていただきます。

この持続可能という言葉が地球規模で考えると、我々人類がこの地球上においてすべての生物・植物と共に幸せに生きていける社会を作ることだと私は考えます。そしてこの「**持続可能**」という言葉に基づき今の日本を見ると、まず1,000兆円を超えられている借金を抱えている財政の健全化が必要だと思われ、年々深刻化する環境問題も何とかしなければいけません(例えば緑を守るための税金を特別に集めるなど)。また、横浜市も引き続き財政の健全化に努めなければいけませんし(まだ約6兆円もの借金があります)、緑はどんどん減っています(栄区の緑も確実に減っていますし、上郷高校周辺の森も開発される可能性があります)。このような所を見てもやはりこの横浜市にも「**持続可能**」という考え方は必要です。最後になりますが、国や市に借金が増えればしわ寄せが国民・市民にきますし(税金が上がるなど)、環境を守らなければ人が地球に住めなくなってしまいます。

だからこそ、これからも私は「**持続可能**」という言葉が公約に掲げていきます。

大桑新聞

大桑新聞ではみなさまとともに、
栄区について考えていきたいと思っております。

FAX: 045-892-5187